

## 福島県二本松市でのソーラーシェアリング事業に対する融資実行について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、二本松営農ソーラー株式会社が福島県二本松市で実施する、太陽光発電と農業を同時に行う大規模営農型発電事業（ソーラーシェアリング）に対して融資を実行いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本事業は、福島県二本松市笹屋において、敷地面積約6万8千㎡の農地を活用して行われる大規模な発電事業であり、太陽光を農業生産と発電とで共有するソーラーシェアリング事業は、次世代の農地活用の形として注目されています。

当行は、今後とも再生可能エネルギー発電の導入支援等を通じて、SDGsの達成に貢献してまいります。

## 記

## 1. 本件概要

## ＜事業概要＞

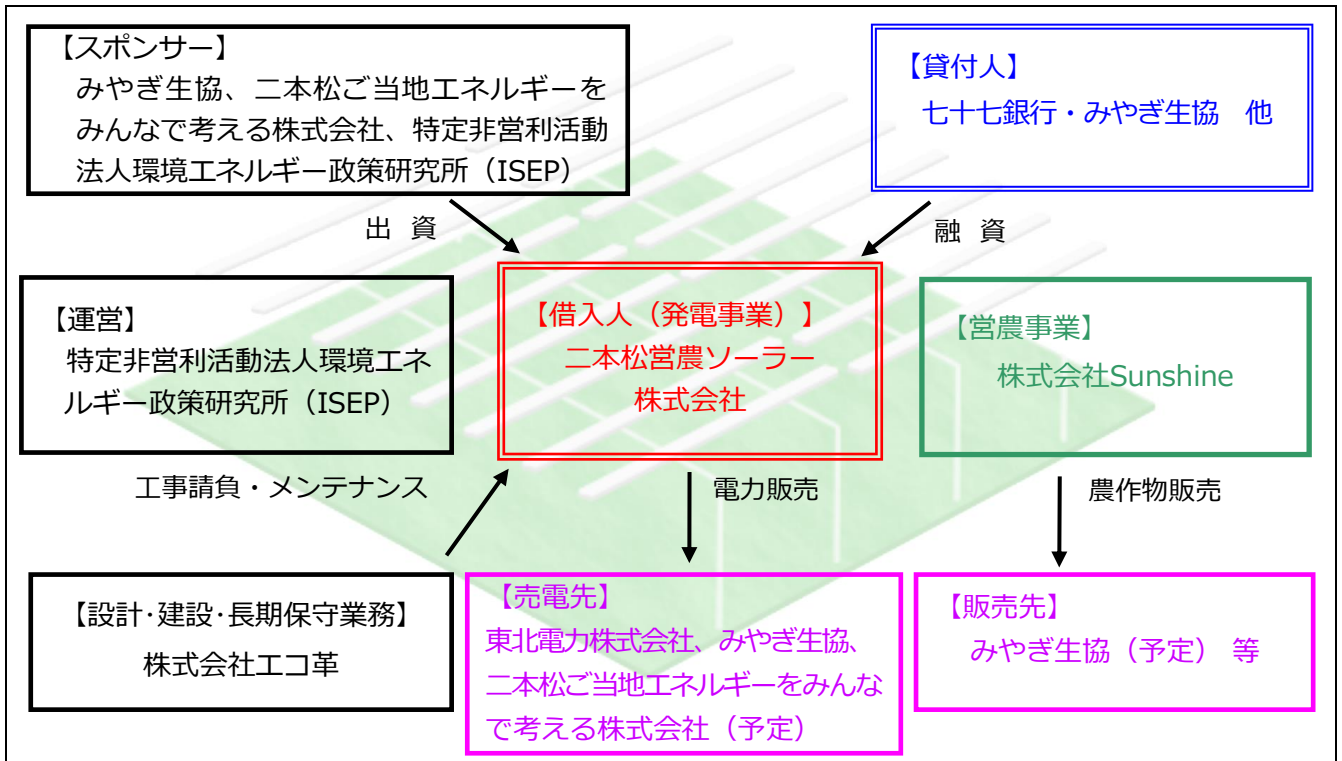
事業名称	二本松営農ソーラー発電所
発電事業主体	二本松営農ソーラー株式会社 福島県二本松市若宮一丁目127番地
生産事業主体	株式会社Sunshine 福島県二本松市若宮一丁目127番地
所在地	福島県二本松市笹屋
土地面積	68,123㎡
発電設備規模	1,930KW
年間想定発電量	3,788MWh/年 【一般家庭約780世帯分相当】
生産物	有機エゴマ、シャインマスカット
運転開始時期	2021年8月

## ＜融資契約＞

貸付人	株式会社七十七銀行
融資金額	非開示



## 2. ストラクチャー図



本事業では、二本松営農ソーラー株式会社（発電事業）と株式会社Sunshine（営農事業）が主体となり、再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）を活用した太陽光発電による全量売電と有機エゴマやシャインマスカットの生産・販売を見込んでおります。なお、電力は、みやぎ生協店舗の電力等へ供給を予定しています。

## 3. 完成イメージ

（実際は、下部写真の40倍相当の設備規模）



### 《関連するSDGs》



#### SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言〜もっと、ずっと、地域と共に。〜」を表明しました。

以上